

きたひろしま 議会だより



カープ対中日 ウェスタンリーグ



主な内容

平成30年度補正予算	2	あの問題は今!! 30をみ~つけた!	14
議案審議の結果	3	町内視察報告	15
特集 白熱した議論	4~5	災害状況 表紙の説明 あとがき	16
一般質問 町政をただす	6~13		

vol.
53
2018.8.1

一般会計予算

2億9000万円増額

(一般会計総額149億3000万円 対前年度同月+1.8%)

補正予算

特別会計予算

500万円増額

平成30年第2回北広島町議会定例会が、6月8日から6月20日の13日間にわたって行われ、提案された専決処分承認2件、補正予算など7議案全てが承認・可決となりました。承認2件は国の税条例改正に伴い、「たばこ税、個人町民税や固定資産税、国民健康保険税」の町税条例を改正するものです。生活に密接に関連していますので、注意が必要です。

また7議案のうち、3月議会にて否決され再提出された「特別職及び一般行政職員の旅費の日に関する議案」と、一般会計補正予算における「北広島町図書館大規模改修」については、白熱した議論が展開されました。4ページ、5ページに特集を組んでいます。

【一般会計】

(万円)

事業名	補正額
消防団活動服購入費	△ 1,702
ふるさと寄附サブサイト制作業務委託料	79
コミュニティ振興対策事業費(※1)	268
西部衛生組合ごみ処理施設等解体事業費負担金(※2)	1,824
多面的機能支払交付金	261
新規就農総合対策事業費	81
担い手育成総合支援事業費(※3)	3,580
地域施工支援事業費	258
小規模崩壊地復旧事業費	647
北広島町図書館大規模改修工事費等	20,144
スポーツによる地域活性化推進事業	316
その他	3,277

(※1)…地域おこし協力隊の増員と、地域づくり交付金・頑張る地域応援補助金の増額分

(※2)…稼働を停止したごみ処理施設の解体費用で、安芸太田町、北広島町、広島市で負担(北広島町の負担割合は13.7%)

(※3)…豊平地区のキャベツ栽培計画と、大朝・豊平地区のハウスや機器の整備費を支援

【特別会計】

(万円)

事業名	補正額
《介護保険》	
過年度基金交付金精算(※)	449
予備費	51

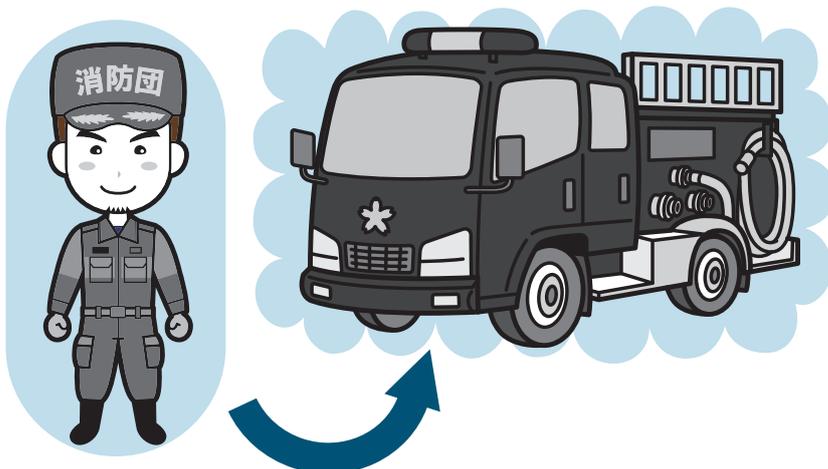
(※)…介護給付費が想定より少なかったため、支払基金へ返還

消防団活動服購入費

減額1702万円

前回の議会広報No.52で特集した消防団活動服購入は見直され、消防車の更新に充てられることになった。

1702万円のうち、電源立地地域対策交付金1100万円(残りは一般財源約600万円)から、消防車購入に約992万円が充てられ、残りの約110万円は消防に関する備品購入に充てられる予定である。



北広島町図書館

○北広島町図書館大規模改修に約2億円を補正。

2億114万円

既存の図書スペースに加えて、現機械室を閉架書庫に改修し機能を拡張する。トイレは洋式便器に更新し、付近に授乳室を設ける。また、空調機器が老朽化していることから高効率の空調機器に更新し、屋根の雨漏り対策を講じる。

平成30年 6月定例会 議案審議の結果

審議日程	議案・提案・発議名	全員一致	不一致	結果	質疑討論
6月8日	工事請負契約の締結について(樽床・八幡山村生活用具および民家保存修理工事)	○		可決	
6月20日	専決処分の承認を求めることについて(北広島町税条例等の一部を改正する条例)	○		可決	
	専決処分の承認を求めることについて(北広島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)		●	可決	不一致①
	特別職の職員等の旅費の特例に関する条例		●	可決	不一致②
	字の区域の変更について	○		可決	
	財産の取得について(災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材)	○		可決	
	平成30年度北広島町一般会計補正予算(第1号)		●	可決	不一致③
	平成30年度北広島町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	工事請負契約の締結について(千代田浄化センター増設工事)	○		可決	

審議日程	請願・陳情	請願陳情者名	全員一致	不一致	結果 上:陳情 下:発議	不一致 質疑討論
6月20日	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	北広島町職員労働組合執行委員長 寺川 浩郎	○ ○		採択 可決	
	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する陳情書	広島県教職員組合山県・安芸高田支区山県ブロック委員長 大久保 明信	○ ○		採択 可決	
	発議	提出者	全員一致	不一致	結果	不一致 質疑討論
	財政健全化調査特別委員会の設置について	北広島町議会議長 伊藤 久幸	○		可決	

財政健全化調査特別委員会の設置について

議員発議により、財政健全化調査特別委員会を設置しました。

これは、北広島町の厳しい財政事情に鑑み、今後の財政健全化に向けて調査研究するため、特別委員会を設置するものです。なお、構成員は議長を除く全15議員となっています。

持続可能な町にしていくために、行政と共にしっかりと取り組んでいく覚悟です。

議案に対する質疑・討論

○ 賛成 ● 反対 一 欠席

不一致① 北広島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

反対討論 美濃孝二 軽減と見直しを行うべき

国保税の課税限度額の改定は、県内でも3市町が6月議会に条例改正を提出し、国立市では被保険者の負担増になるのかで判断し

ている。しかし北広島町は、地方税法施行令改正を機械的に受け止め、専決処分している。負担上限を引き上げる前に、国庫負担増に

よる保険税水準の引き下げ、「均等割」の軽減、見直しなどを行うべき。

不一致② 特別職の職員等の旅費の特例に関する条例(特集4・5ページ)

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審議結果
○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	可決

不一致③ 平成30年度北広島町一般会計補正予算(第1号)(特集5ページ)

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審議結果
○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可決

特集

自熱した議論

『職員の旅費日当廃止』を可決

特別職や一般職員の出張に伴う

日当を支給しないこととする議案を、議会は賛成多数で可決した。前回の3月議会で同様の議案は否決した経緯がある。これまで、町外に出張する際、1日当たり県内1100円、県外1700円を支給。町は平成30年度約450万円の歳出削減を見込んでいた。

反対討論

美濃孝一

①3月議会で否決されたにもかかわらず、内容がほとんど同じで、直後の再提出は議会軽視。

②10億円のまちづくり拠点整備の見直し、解放団体補助金の廃止、住宅新築資金貸付金の徹底した回収、企業立地奨励金や温水プール、ドミニカの事前合宿の見直しなどを先に進めるべきであり、さらに2億円の北広島町図書館工事費も必要最小限にとどめるなど、財源を確保するのが先。
③廃止するなら制度そのものについて納得できる説明が必要。

賛成討論

服部泰征

今回は説明もなく予算に計上されていたことと期限が3年と決まっていたため反対した。今回は支給しないとする趣旨等の説明をきちんと受け、期間についても無期限となったため納得した。削減される金額は大きくないが、少しでも削減を行っていくとする行政職員の姿勢は評価すべき。厳しいこの情勢を乗り切っていくためにも必要と思うので賛成する。

反対討論

中田節雄

財政調整基金も大幅に減少しており、思い切った行財政改革を断行しなければならぬ時期である。補助金カットだけでなく廃止を含め、他の行革も見える形で示す必要があり、本案だけでは行革の道すじが見えないため反対である。

反対討論

伊藤 淳

根拠のない日当を出さないことについては賛成する。ただ、日当の妥当性が見えず、執行部の説明に納得できていない点がある。

民主主義とは、熟議すること、よく話し合つてこそ、その真価が

活かされる制度である。そのため、まだまだ話し合うべき点があると考え、反対討論とする。現在の時代背景ではこの日当に妥当性がなく、さらに執行部が財政難のため無期限停止の特例を求めているので、この日当に関しては条例改正をして一文を削除することが良い。より良い議論、議会のためにも今一度の議論を尽くそう。

賛成討論

大林正行

賛成理由は以下である。

①平成30年度から厳しい財政状況に鑑み、町民の痛みを伴う、補助金の一律10%カットや75歳の敬老金5000円の廃止、88歳及び100歳の敬老金を50%程度減額することになったこと。
②それでも歳入が不足するため、将来の災害などのために蓄えてきた財政調整基金などを9億5000万円も取り崩して予算編成したこと。
③旅費の日当を支給しないことについては、職員労働組合と文書で

確認合意済みであること。

さらに、現在及び将来の財政は非常に厳しい状況の中で、今まで以上に業務の見直しを行い、聖域なき経費の削減を実行していかなければならない。

町長からは、今後とも不転の決意で行財政改革に取り組んでいく決意が示された。経費の削減は、痛みを伴うが行政、議会、町民が一体となり取り組んでいく必要がある。

反対討論

梅尾泰文

職員の日当部分を支給しないと
いうものであり、財政が厳しいと
聞く。誰が何に支出をして財政難
を起しているのか、明確にされ
ていない。一番手を付けやすく、
反対しないところに向けている。

賛成討論

宮本裕之

町長の財政健全化に対する不転の覚悟が示され、職員のスキルアップに対する具体的な取り組みも示された。財政健全化に職員の能力向上は不可欠であり、今後の歳出削減の取組みに大きな期待を寄せて賛成する。

『北広島町図書館』の大規模改修について

今回の補正予算のうち、『図書館の改修』の予算額2億113万9000円が議論の中心となり、可決となった。

今回の計画は、以前に『図書館美術ギャラリー計画』のギャラリー部分が白紙となり、改修部分のみの実施設計が進められていた背景があった。

反対討論

美濃孝一

給食センターの劣悪な労働環境、子どもが通う通学バスの改善さえも「財源がない」とすぐに改善しようとしめない。ところが北広島町図書館は、美術ギャラリーが白紙になったにもかかわらず、住民の意見をほとんど聞かず2億円もお金をつぎ込もうとしている。財源が厳しい時だからこそ、具体的に情報提供し、どの事業を優先して行うのかしっかりと議論し、住民の納得を得て進めるべきである。

賛成討論

伊藤 淳

一般質問で取り上げた図書館に関する予算に賛成である。

理由としては、第一に現在雨漏りをしている図書館では、大事な財産である書庫を傷つける可能性があり、一刻も早い改修が望まれるからである。

確かに、この予算はとても高く感じる。しかし、第二の理由に、この価格に妥当な点があるため、賛成とする。現在、東京オリンピックによる建材の高騰、積算価格による予算といった観点からである。もし、大幅な追加発注があった場合、今後は発注図面に目を通せるように自分自身勉強と努力を重ねる覚悟をしている。また、ギャラリー通の拡張によってできるイベントスペースの営業計画は現在スケジュールとして決まっていない。しかし、図書館職員に話を聞くと、お金をかけられない中で

もイベントスペースの様々な活用方法を考えているのだなと実感し、賛成とする。財産である書庫を守り、子どもたちのさらなる利便性向上にむけて改修するべきである。

反対討論

梅尾泰文

今回の補正は、2億9000万円、そのうち図書館大規模改修工事が約2億円を占めている。補正予算の69%である。当初予算の3か月後の6月補正でこうした提案はあり得ない。

時期もそうであるが財政が厳しいといいたいながら提案される。ドミニカ共和国のホストタウン事業に1000万円の支出など危機感が感じられない。千代田地域の公民館建設を中心とした周辺整備に10億円を要する事業が動き始めている。千代田中央公民館は築47年なので建て替え時期である。その中に図書館機能を提供合わせた建物にすればいい。これからはできるだけ箱ものは縮小していく方向を持たなくてはならない。

一般質問

15議員が町政をたず

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
6	伊藤 淳	①北広島町図書館の改修について ②20年後を想定したまちづくりに向けて	10	山形しのぶ	①小学生の通学バスについて ②ネウボラきたひろしま『てごてご』について
7	宮本裕之	①北海道「北広島市」との友好都市提携について ②米軍機低空飛行訓練に対する米軍再編交付金の是非を問う	10	美濃孝二	①支所再編で拠点としての役割が果たせるのか ②低空飛行の監視体制強化等の対策はどうか
7	大林正行	①外国人観光客の誘客策を問う ②町道へ伸びた樹木対策を	11	室坂光治	今後の北広島町の地域づくり体制について問う
8	敷本弘美	学校給食調理施設の環境整備及び従事者の処遇改善を	11	中田節雄	薪ストーブ購入補助金を廃止するべきでは
8	梅尾泰文	①米軍機の飛行中止を求める ②郷土愛を高めるために生徒議会の開催を	12	森脇誠悟	防災対策・災害復旧の現況を問う
9	湊 俊文	①地方創生について ②伝統芸能文化の保存と継承について	12	真倉和之	①地域とともにある学校づくりと登下校の安全対策について ②北広島町の現状の財政状況と課題について
9	服部泰征	①働き方改革への取組は（その2） ②健康を守る取組について	13	亀岡純一	人口減少を見据えた諸問題への取り組み
			13	濱田芳晴	次世代を考える パート 24

伊藤 淳議員

プールの今後を決めて、水を抜くべきでは

プールの跡地利用の計画はない



図書館の改修について

問 もともと美術館計画は財源がないため、実行できない。代わりに、既存の建物を利用する美術ギャラリー計画へと変更された。地域住民との話し合いの中で、ギャラリー計画に2億か3億かという想像の額が提示された。しかし、その後にはギヤラリー部分がなく今回の改修計画で、2億という補正予算となっている。これは、「ギャラリーがないのに額が変わらない」という点で、納得できない点がある。

答 生涯学習課長
ギヤラリー部分に関しては、そこまで多くの費用が掛からなかった。また、指摘された点は改修後の維持経費をもっと見直すべきであり、北広島町に美術ギャラリーが必要なのかという点だった。

問 図書館の利便性の向上として、「ギヤラリー通」の拡幅場所で学生のための自習スペースとして利用できないか。

生涯学習課長

答 そのために、備品購入費を計上している。

20年後を想定した協働のまちづくりについて

問 新庄小学校のプールは、現在水を抜いている。プールは水を抜いてしまおうとプールとして使えなくなる。解体計画はあるのか。もしくは、地域住民と跡地利用を考えているか。協働のまちづくりとして、話し合いが少なくないと考える。

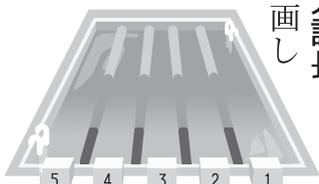
学校教育課長

答 プールの跡地利用として計画はない。解体は、町の総合管理計画に基づいて進めていく。

問 20年後のまちを考えるために、将来足りなくなる業種を調査分析しているか。

商工観光課長

答 現在、計画していない。





宮本裕之議員

米軍再編交付金の是非を問う

4市町と協議し慎重に対応する

問 厚木基地からの空母艦載機移駐が完遂し、岩国基地は極東最大規模の軍事基地となった。この移駐により今後益々低空飛行訓練が増え、騒音被害はより深刻化すると懸念する。今年の本町の米軍機低空飛行状況は。

答 危機管理監
今年に入り、低空飛行の目撃件数は494件、そのうち70dB(デシベル)以上が348件、100dB以上が2件となっており、前年比で64件減少している。しかし70dB以上は136件増加している。騒音に対する苦情は聞いていない。

問 低空飛行訓練中止要請の国からの回答は。

答 危機管理監
現在、国からの回答はない。

問 湯崎広島県知事の米軍再編交付金措置要請に対して町長の考えは。

答 町長
交付金要請を否定するものではないが、交付金をいただくことは、低空飛行を容認することにな

りかねず、4市町と協議の中で慎重に対応したい。

北海道「北広島市」との友好都市提携を

問 今年、プロ野球北海道日本ハムファイターズが北広島市への移転を決めた。日本ハムファイターズには地元新庄高校出身の堀瑞輝投手を始め有原航平投手、中田翔選手、大田泰示選手等、広島県出身選手が多い球団である。これを契機に、北広島市と友好都市提携をどうか。

答 町長
北海道には多くの広島県民が開拓移民をした歴史がある。また今まで旧町時代に他の自治体と友好を深めてきた例もある。友好都市連携を進めていくために歴史的、文化的観点や今後のメリットを考慮し研究していく。



大林正行議員

外国人観光客の誘客策の成果は

台湾の教育旅行の誘致に成功

問 外国人観光客の誘客策として農泊推進事業を実施しているがその内容と国の補助金は。

答 商工観光課長
農村地域ならではの伝統的な生活体験や地域の人々との交流を楽しむ滞在型旅行による外国人旅行者を町内に呼び込む事業で補助金は800万円。

問 農泊推進事業の平成29年度の活動内容と成果は。

答 商工観光課長
農山村体験推進協議会が事業主体となり、外国人の方々によるモニターツアーや、台湾をターゲットにした教育旅行の誘致活動などを行った。

問 本町の特色ある観光コンテンツとは。

答 商工観光課長
提灯づくり、染め物、神楽、そば打ち、日本刀田舎料理体験などを考えている。

問 東京オリンピックスタジアムとして登録されたが、どのような文化交流を考

えているのか。

答 生涯学習課長
ドミニカ共和国の食、音楽などの生活文化を紹介できる交流の機会を設けたい。

問 町道の通行に支障がある樹木の整備の基本的考え方は。

答 農林課長
山林の所有者が実施することが基本である。ひろしまの森づくり事業の活用も可能である。

問 森林環境税及び森林環境譲与税の目的と内容は。

答 農林課長
担い手不足や所有者不明の森林管理のため地方自治体が直接管理を行うほか、CO₂の森林吸収元対策に係る地方財源の確保が目的である。

問 今年度導入される竹チップの導入時期は。

答 農林課長
夏ごろの導入を予定している。安芸北森林組合に管理を委託する予定。

議員 美弘本 数



学校給食調理施設的环境整備・処遇改善を

今後の方針を決め早い内に取り組む

- 問** 食品事故をおこさないためにも、学校給食調理施設の衛生面、調理従事者の健康面、処遇改善の見直しが必要である。調理員さんとの意見交換会・研修会の目的は何か。
- 答** 学校教育課長 学校給食調理員としての勤務規律、日常業務に直結した衛生管理等、課題や要望などのヒアリングを行っている。
- 問** 意見交換会ではどのような意見、要望がでてくるか。
- 答** 学校教育課長 老朽化している施設の改善、賃金面の改善。
- 問** 意見集約後、改善がなされたもの、なされていないものは何か。
- 答** 学校教育課長 賃金の改定は平成30年4月から。施設機器等の修繕については優先順位を付け改善をしている。
- 問** 調理従事者のズボンが支給されていないのはなぜか。
- 答** 学校教育課長 ズボンについては今後現場の意見を聞きながら対応をしていく。
- 問** 衛生面を考え洋式便所への改善を。
- 答** 学校教育課長 改善をしていく必要があるのは考えているが、財政的な面、敷地の問題を含め研究をしていく。
- 問** 和式便所のため下半身の衣類を脱いで入る状況が続くことになる。財政的に難しいと言う問題ではないか。
- 答** 学校教育課長 改善の判断は出来ない。再度教育委員会、町長含め検討をしていく。
- 問** 調理施設内の冷暖房完備の考えはあるか。
- 答** 学校教育課長 スポットクーラーの導入を順次進めている状況である。
- 問** 給食施設的环境整備、従事者の処遇改善について町長の考えを伺う。
- 答** 町長 処遇改善という課題、施設設備の問題もある。今後の方針を決め、出来るだけ早いうちに取り組む。

議員 文泰尾 梅



米軍機の飛行中止を求める

関係市町と連携して中止を求める

- 問** 岩国基地の増強によって、騒音被害や落下の危険度がわが町も増えてくる。飛行状況はどうか。
- 答** 危機管理監 騒音測定器が町内4か所に設置されておりその結果を毎月県に報告し、国に中止の要請を行っている。中四国防衛局が設置している騒音測定器を設置しており、うるささ指数は29年度については65・4である。
- 問** 騒音被害を受けている。近隣市町との連携はできているのか。
- 答** 危機管理監 廿日市市、三次市安芸太田町と年3回当町で協議を行った。
- 問** 地域住民の声はどのように伝わっているか。
- 答** 危機管理監 「いつもと違う大きな音がした。ある建物を目標にして訓練している。墜落するのではないかな」などの声を聞いている。
- 問** 墜落の危険性があるが対処できる方法はあるのか。
- 答** 危機管理監 墜落事故が発生した場合、瞬時であり対処は無理である。そうならないように飛行訓練の中止を要請する。
- 問** 生命財産を脅かす危険な飛行は shouldn't 訓練したいのであればアメリカですればいい。
- 答** 危機管理監 住民の生命財産を守るため、米軍機の低空飛行を生活している空域で行わないように要請する。
- 問** 今後どのように町民の安全を確保するか。
- 答** 町長 国会議員等の協力も求めて低空飛行の中止を求める。





湊 俊文議員

壬生の花田植の公開条例の制定は

ユネスコ登録であり条例は考えてない

問 伝統芸能文化の保存と継承の将来を考えたときユネスコ世界文化遺産壬生の花田植公開条例の

答 今後、壬生の花田植保存活用検討委員会を開催し、中長期的見通しを持って無形文化財の保存・活用を図るために、ほ場や飾り牛の確保の問題も含めて検討していく。

答 町長 今後、壬生の花田植保存活用検討委員会を開催し、中長期的見通しを持って無形文化財の保存・活用を図るために、ほ場や飾り牛の確保の問題も含めて検討していく。

答 生涯学習課長 ほ場の確保については花田植保存会から現在行っている場所で継続と聞いている。牛の確保が重要な課題であり、飾り牛がいなければ町内の花田植が継続できないことは承知している。飾り牛は文化財指定ができないため国の補助はないが、飾り鞍には補助してきた。

問 ユネスコ世界文化遺産壬生の花田植を将来的に公開していくためには、ほ場の確保と保全、そして飾り牛の確保と飼育が必要条件ではないか。

答 生涯学習課長 制定の考えはあるか問う。条例の制定について予定はない。

問 耐震補強は適正配置対象で工事は入っていない。私立の12施設の8棟は適合している。

答 福祉課長 建築基準法で56年以前に建築した本地東側、南方、川戸、新庄の公立保育所は現在には不適合である。

問 北広島町にも断層が走っている。町内の公立・私立の保育所と認定こども園の13か所の耐震性と工事の有無は。

答 生涯学習課長 壬生の花田植保存活用検討委員会で検討する。

問 公共等施設の長寿命化

問 一步踏み込んだ政策、飾り牛を人として見立てた擬人化と公開ほ場の確保、そして一帯を公園化するのを盛り込んだ条例を策定し、公開の支えとしたい。



服部泰征議員

働き方改革への取組みは

選択と集中を図っていく

問 平成29年度の時間外勤務の時間と金額は。

答 総務課長 病院と消防を除いて約2万8300時間、7235万円となっている。

問 平成28年度と比べ改善しているが、理由は。

答 総務課長 勤務実態の把握や要因の精査、業務の見直しを行った。またノー残業デーや業務のシステム制限も検討している。

問 個人で時間外勤務が最長となった方は。

答 総務課長 商工観光課で年間609時間。土日のイベントや行事による。しっかりと振替え休日が取れるよう、取り組んでいきたい。

問 行政職員数は他町と比べてどのような状況か。

答 総務課長 類似団体別職員数の調査によると、本町は1万人当たり103.31人。平均は75.41人。面積が異なるので単純比較はできないが、2番目に多い状況である。

問 民間に窓口業務の委託をしてみても。

答 総務課長 利便性や業務の軽減に繋がる有効的な手段である。費用対効果を勘案して研究していきたい。

問 議会用タブレットを検討している。財務状況が分かるよう、データベースにアクセスしたいが。

答 総務課長 公開用の資料データベースの構築を要する。必要性や活用方法を踏まえて検討が必要である。

問 教職員の体制は。

答 教育長 現在、定数に対する欠員は無いが余裕は無い。多忙であり、業務軽減の努力をしている。

問 将来的な部活動の集約や質向上、集客の面から、千代田運動公園の照明と人工芝化が必要では。

答 町長 内部でたびたび検討してきた。交通の便や立地も良いが、現在の財政状況ではなかなか踏み切れない。

山形しのぶ議員



小学生の通学バスの安心安全保障は

財政的に厳しいが安心安全対策に務める

問 小学校の統廃合が進み、バス通学の児童が増えている。座席が足らず立ってバスに乗っている児童・生徒がいるが、知っているか。また、対応はどのように行っているか。

答 学校教育課長

地域から小学生が立ってバスに乗っているが、何とかならないかと話があった。また、学校からの報告もある。関係機関である企画課と協議したが、財政的に厳しく、バスを大きいものにしたたりスクールバスを用意するなどには難しい。

問 登下校の安心安全に向けて、今後の対策は。

答 学校教育課長

学校や保護者の協力を得て、通学路の危険箇所を出してもらい確認する。登下校時の交通安全教育を進め、引き続き見守り隊の皆さまにもお願いしていく。交番の協力も図り、交通安全教室の開催や登下校のパトロール

行ってもらうなどの対策をしていく。

ネウボラきたひろしま
「てくてくてこ」について

問 子育て充実に向けてどのような取り組みが行われているのか。

答 福祉課長

保健師や保育士、助産師などが母子健康手帳交付から妊婦教室、育児相談など継続的に支援していく。子育て世代の不安軽減を図り、妊娠期子育て期までのワンストップサービスをを行う。情報整理や早期対応を行っていく、切れ目ないサポートを目指す。

問 子育てに対して一貫した取り組みとなるように、子育て支援課の立ち上げはできないか。

答 福祉課長

妊娠前から子育て期は多岐にわたり支援が必要である。現在1つの課とすることは難しい。各関係課が情報共有を深めながら、継続的・協力的に取り組みを行っていく。

美濃孝二議員



支所職員11人で役割が果たせるのか

事務効率化し、地域づくりを重点に

問 地域づくり係3人で地域に出ていけるのか。地区振興会単位に担当職員を。

答 総務課長

振興会単位のビジョンづくりに職員が出向き一緒に考えていくことで地域担当制になる可能性はある。

問 本庁に行かなくても支所で用事がすむのか。

答 総務課長

「本庁に行ってくれ」でなく、話をしっかり聞いて対応する。

問 「支所機能の充実」が公約ではなかったか。

答 町長

施政方針や町政報告で説明している。

問 本庁と話ができるテレビ電話を支所・子育て支援センター等に。

答 総務課長

他団体の活用方法を収集し研究する。

問 豊平支所にエレベータ設置し2・3階を住民

のコミュニティの場に。

答 総務課長

公民館代替えとしてはスペースが確保できない。

問 支所本来のあり方は。

答 町長

協働のまちづくりを実践する拠点である。

低空飛行監視強化し交付金は受け取るな

問 12月の一般質問に対する約束はどうなった。

答 危機管理監

全職員に低空飛行目撃の報告を指示。住民にも情報提供を依頼。「入力ホーム」は作成。被害状況の細かな情報を取り上げ県に報告する。

問 機敏に対応できるマニュアルの作成を。

答 危機管理監

県、4市町と対応する。

問 低空飛行を容認する国交付金は受け取るな。

答 町長

4市町連絡会議でまだ統一的方向は出ていない。



八幡出張所に続き国が今年設置し4月から測定を開始した芸北ホリスティックセンター裏の騒音測定器



室坂光治議員

地域づくり体制について問う

地域づくりの今後の取り組みをする

問 北広島町になり13年が経過する。町民の皆様が一番頼りにしている支所では、支所機能の充実をはかるため体制が変わった。今後支障が起こるのではないかと。地域づくりを広めていくのに、支所はどう関わっていくのか。

答 総務課長

各振興会や各地域において具体的な計画策定に取り組み、支所が住民と一体となって地域づくりを進めていく。

答 芸北支所長

住民の皆様の声を聞き一緒に知恵を出し、共に行動し地域の活性化に向けて取り組む。

答 大朝支所長

団体等と連携しながら地域住民と協働の地域づくりを地域づくり係を通じて取り組む。

答 豊平支所長

企画課地域づくり係と共に地域の皆様の意見交換をし協働の町づくりをしていく。

問 以前質問している

「吉木川の立木の件」について、工事の進捗状況は。

答 建設課長

5月17日と18日2日間通行止めを行い倒木処理を行っている。クレーン作業が可能などころは多分できていますが、作業日程の行程でできていない部分もある。定期的に河川パトロールをし、状況を監視し早急な対応が必要な箇所は早急に対応する。



答 町長

道路のいたみが激しい所から計画的に整備している。そういった形でいかならない所は部分補修しながら進めていく。

中田節雄議員

薪ストーブ購入補助金を廃止しては

予算化しており、計画どおり継続する

問 今議会でも、多くの問題が提起されている。中でも給食調理員の環境改善は、早急な対応が求められている。

しかし、財源は合併特例による交付金が大幅に減額され、財政調整基金も、平成27年度末には約26億円が、現在は約10億円と大きく減額している。災害の関係もある。行財政改革の一環として、補助金の1割カットをしているが、薪ストーブの購入補助金は廃止するべきではないか。里山林整備の目的もあるが、大きな効果にはなっていない。

答 町民課長

森林は国内唯一の再生産資源で、多面的利用の一環として、計画の中に位置付けられており、今後も継続していく。

問 薪ストーブの補助金は、大きな金額ではないが、補助金の廃止を含めた行財政改革を断行し、町民の方に本町の厳しい財政状況を理解して頂くべきではないか。

薪ストーブの補助金は、大きな金額ではないが、補助金の廃止を含めた行財政改革を断行し、町民の方に本町の厳しい財政状況を理解して頂くべきではないか。

答 町長

補助金の見直しを進めているが、これからも行財政改革を進め、財政状況に応じた施策としていく。薪ストーブは、計画に沿って実行する項目であり、継続していく。

問 諸計画策定の際、コンサルに委託されているものもあるが、極力職員が計画づくりに関わり、自ら汗をかくことが大切であり、町民の方にも厳しい財政状況を理解して頂くべきである。今後予想されるライフレインの大型事業の財源はどうか。

答 財政課長

公共施設管理計画の中の事業は、多額の財源を伴うものであり、工事計画の内容を検討しながら進めるとともに、建物の総床面積の3割削減を目標にしている。



森脇誠悟議員



防災対策・災害の現況を問う

住民とともに安心安全を守る

問 Jアラート（全国瞬時警報システム）とは何か。

答 危機管理監
弾道ミサイルの飛来情報や緊急地震速報など対処に時間的余裕がない事態の情報を、国が瞬時に伝達するシステム。

問 町内の防災無線の運用は、近い将来廃止される予定である。それに向けてのJアラートの活用方法は何か。

答 危機管理監
現在きたひろネットでの告知、携帯電話での防災安全お知らせメール（登録制）等がある。

問 巨大災害には、防災でなく、減災対応が重要といわれている。行政主導から自助、公助、互助共助、つまり連携協働が重要である。災害時における企業等との支援協定の状況について問う。

答 危機管理監
現在4団体と協定を結んでおり、内容は応急給水活動、被災箇所への応急復旧工事等である。今後

コンビニエンスストアと物資の供給に関する協定を予定している。

問 家屋の裏山等の崩壊地を復旧する県の小規模崩壊地復旧事業の「地元負担金が高い」という声があるが、負担率を下げることができないか。

答 建設課長
この事業は地元の要望により県が採択するもので、事業費を県が2分の1、町が4分の1、地元が4分の1の負担と決められているので、変更は難しい。

問 県の事業採択が少ないうえに、「生命に勝る事業はない」ということで、単独事業として実施している市町もある。本町も単独補助事業を実施する考えはないか。

答 建設課長
家屋等は個人財産であり、町予算で対応することは公平性・公益性からみても難しい。地元施工の事業で対応することもできる。

真倉和之議員



地域とともにある学校づくりは

地域の協力のもとで取組む

問 学校運営協議会の設置は地域とともにある学校への転換であり、学校は地域とともに発展していくべきで、その取り組み状況を問う。

答 教育長
地域とともに学校はあ。学校運営協議会の設置には、学校長とPTA、学校評議員等の多方面のご理解が得られれば準備を行い取り組んでいく。

問 児童生徒の登下校の安全指導を実施して頂いている地域の方、PTAの方を含めボランティア活動を実施していただいている方の傷害保険料の負担は、行政が負担すべきではないか。

答 学校教育課長
地域の見守り隊の協力を頂いて交通安全指導を実施していただいているが、現在町が加入している総合賠償保険に加入できるか研究している。

問 平成29年度の北広島町の会計閉鎖も5月末日をもって終了したが、平成29年度の決算見込みに

において、北広島町の財政状況は昨年度と比べてどのように変化しているのか伺う。

答 財政課長
平成29年度の決算見込は一般会計で歳入が170億前後で、歳出は165億前後になる見込みで昨年度の決算見込みを大幅に上回ると見込まれる。これは昨年7月の大雨災害、豪雪による除雪費、大型公共事業によるものである。





亀岡純一議員

人口減少を見据えた取り組みは

総合的な取り組みが必要

問 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計は、現在の状況が今後も続くと仮定した場合2060年の北広島町の人口は現在のほぼ半分、9963人まで減少するととなっているが、これを踏まえて町長はどのような町政運営を決意されているのかを問う。

答 町長 最近また新しい情報も出ている。平成22年の国勢調査までを基礎データとして推計をしたものは2040年に1万3528人であったが平成27年までを基礎データにして推計をした値だと、1万3889人、前回よりも361人増え、若干上方修正された。これは、平成27年の人口の73・4%になる。この数値が高いほど人口減少が緩やかである。県内9町のうちで坂町、府中町、海田町に次いで4番目に高い数値になっている。これまで実施している施策の成果が少しずつ出てきていると考え

る。本町においては平成27年度に総合戦略、平成28年度に長期総合計画を策定し、Uターンの促進を始めとした移住定住対策の強化を図っている。柱として、地域に根付き未来を担う人づくり、働く場の提供、元気で安心して暮らせる環境づくり、集落の維持や災害等に備える仕組みと体制の強化を掲げて取り組んでいる。これらは個別の施策で成果が出るものでなく相互に連携し補完し合うことで総合的なもので成果が出る。第2次長期総合計画に基づき総合的な取り組みが必要と考える。着実に未来あるまちづくり、魅力あるまちづくりを進めていくが、この人口問題については町の取り組みだけで成果が出るものではない。地域づくりの中でも若者定住など大きな課題がある。地域の皆さん町民の皆さんと力を合わせて取り組んでいかなければならないと考える。



濱田芳晴議員

次世代について考えるパート24

地域の団体に協力を仰いでいく

問 昭和40年代から核家族化が進み、全国で親が住んでいた家が空き家になるケースが増えている。町内にどれぐらいの空き家があるか。

答 建設課長 芸北291戸、大朝206戸、千代田413戸、豊平340戸、計1250戸がある。

問 空き家情報バンクにどれぐらいの登録があるか。

答 企画課長 売買33件、賃貸5件、売買・賃貸の両方可能な物件が1件の計39件がある。

問 相続される方は、自分で管理するかどうかの調査が必要ではないか。危険家屋になる前に2戸解体されたと聞く。どのような指導をしているか。

答 建設課長 アンケート調査は行っている。自己管理約33%、売却または解体約25%、子孫に任せる約15%など。保安上、衛生上の影響などを指導している。

問 25%の人が問題。私には妻の関係の家で仏壇や要らないものを整理した。このような問題に対応できない人がいるのでは。

答 建設課長 仏壇や家財の撤去、家屋の修繕や管理などに関する要望に対して、北広島町商工会と協定を結び、町内業者の紹介を行っている。

問 NPO法人を作り、対応しているところもあるとか。例として、豊平地域協議会は数年前に内海町を視察している。地域協議会などの対応が必要ではないか。

答 建設課長 町内にも、地域の空き家問題に積極的に取り組んでいるNPO法人や自治会、振興会などの団体があることを確認している。空き家情報バンクや補助金制度を広報し、協力を仰いでいく。



あの問題は今!



壬生浄水場

水道事業 広域連携

4月に水道事業の経営基盤強化を図るため、県内水道事業全市町が参画する広島県水道広域連携協議会を発足させた。これから2年間協議を重ね、県が関係市町の諸課題を早期にとりまとめ、試算および方針を決定すること

になる。連携事業がスタートすれば国の補助対象となり、単町費は軽減できる見込みである。水源確保で住みよい安心な町となる。

災害復旧 工事

昨年7月発生のもう一つの豪雨災害における公共土木と農林関係施設の災害復旧の国の査定額合計は16億円あまり。激甚災害指定によりさらに2億余の国庫補助金の交付が見込まれ、一般財源の負担割合が減る。復旧工事は本年度も続いている。

次号は、「風力発電計画」について詳しく迫っていく予定です。「火葬場の統廃合計画」も以降に特集していきます。



平成30年にちなんで

30をみ~つけた!



えのかわ 観山流「可愛川太鼓」代表 岡本 康子 さん

太鼓を愛し、楽しみ、平和を大切にする。観山流「可愛川太鼓」発足から30年。女性だけの意気な合った太鼓グループ代表、岡本康子さんは元気に「可愛川太鼓」への思いを語る。

トントコ、ドーン之音が響く大朝保健センターでは毎週日曜日の夜、にぎやかに練習を行っている。40代から70代と幅広い11名の会員がいる。

「可愛川太鼓」との出会いとは?と聞くと、旧大朝町文化祭での故栗田先生との出会いがきっかけで太鼓を始めた。エピソードを尋ねると、「当時はね、女性だけの太鼓グループがなかったことから珍しく、中国自動車道サービスエリアでのイベントに参加した時、後日我が家

に一通の手紙が届いたんですよ。演奏を観て、感動し鳥肌が立った。是非下関のイベントにも来てもらいたい。と書かれてあった。その時の感動は忘れられんね」と嬉しそうに話された。その後、下関へ2度招かれ、東京銀座三越、広島そごうでも太鼓の演奏をされた。

今年3月、県民文化祭芸北大会において、教育長賞を受賞。現在は、12月に東広島で開催される県民文化祭に向け大朝の民謡「わさの歌」を猛練習中。これからも皆さんの心に残る太鼓演奏を。ばちに想いを込め、音と歌で郷土を伝えていきます。生涯青春の心で。と岡本康子さん。



町内視察

平成30年7月4日（水）に議員16名全員参加にて町内視察研修に行きました。昨年9月に行った視察研修に続き、この度は2回目の視察研修となりました。限られた時間の中での視察ではありましたが、8か所の施設を訪問し議員研修に努めることができました。ご協力頂きました皆様方ありがとうございました。



樽床・八幡山村生活用具および民家保存修理工事

○壬生浄水場

増設浄水設備を含む工事等進捗状況について、上下水道課の職員と共に確認した。平成30年10月より取水を開始する。



壬生浄水場

○オムニバス

平成30年2月10日にリニューアルオープン。バリアフリー

1化を進め客室を改装した。車いすのまま乗って昇降できる車いす用階段昇降機設置を確認した。

○アンデルセン芸北100年農場

アンデルセン芸北100年農場



2004年から取り組みが始まり、187畝の敷地面積がある。パンの原料となる小麦を畑作りから取り組んでいる様子を伺った。旧八幡小学校は研修所となっており、ア

ンデルセンの西日本唯一の宿泊研修所として活用されている。

○大朝体育館

平成30年3月に改修工事が終わり、この日は体育館で生徒たちが元気に学校行事を行っていた。トイレにはおむつ替え台も設置されており、地域の活動でも使用しやすい体育館となっていた。



大朝体育館

災害状況

この度の平成30年7月豪雨（西日本豪雨）により被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

北広島町でも、千代田・豊平地域では7月5日から7月8日までの累計雨量が300mm超を記録。7月6日16時00分に避難勧告を発令、エリアメー

ルを携帯電話に一斉配信していただきます。人的被害は無かつたものの、多くの民家や、土木・農業用施設等に被害が及びました。主な被害状況を載せておきます。

被害状況(平成30年7月20日時点)

地域	床下浸水	公共土木施設	農地・農業用施設	林道施設	山崩(小規模他)
芸北		25	6	10	1
大朝		18	14	3	3
千代田	8	42	47	1	11
豊平		52	41	5	5
合計	8	137	108	19	20



芸北 雲耕地区

さて、今回の災害について、多くの地域で自主防災組織や区長により避難所が開設されました。災害時には公的機関からの情報や指示を待つだけでなく、日頃から自ら考え、地域で話し合っておくなど、すぐに動ける体制を作っておくことが大切です。自助・共助・公助がうまく機能すれば、被害を抑えることができます。

なお、北広島町の消防職員は7月7日より、安芸郡坂町小屋浦にて捜索・救助の応援を行っています。猛暑の中での作業であると思います。心より敬意を表します。

表紙の写真



表紙の写真は、7月1日に豊平どんぐりスタジアムで行われた、カープ対中日のウエスタンリーグ公式戦の様子です。平成9年からどんぐりスタジアムで行われるようになったこの試合。今年も北広島町民をはじめとし、他市町からも多くのファンが集まり、老若男女笑顔の広がる時間となりました。昨年のドラフト1位期待の新人中村奨成選手の出場には歓声が上がりました。闘病から復帰した赤松真人選手の姿には多くの応援の声も響きました。地元の方々の準備を始めとし、飲食販売やチケット確認などの運営にも力を注がれました。試合前にはサイン会が行われ、試合後には野球教室などのイベントもあり、プロ野球選手を身近に感じることのできる嬉しいイベントとなりました。

あしがき

西日本豪雨災害で延期となった夏の高校野球広島県大会は10日遅れで開幕されました。今年100回記念大会でもあり、3年生全員が開会式での入場行進の予定でしたが、千代田高校と広陵高校の2校と、安芸南高校の選手宣誓での開会式となりました。選手宣誓された選手は被害が大きかった矢野地域出身の選手でした。宣誓の言葉の中に「どんな状況も克服し、それを乗り越えて挑戦します。」被災された方々に勇気と力を与えられるように全力でプレーします。」とありました。自分自身にできること、自分だからこそできることが被災された方々の支えに繋がるように、頑張りたい。という力あふれる宣誓だったように思います。がんばろう広島。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

- 【発行責任者】 議長 伊藤 久幸
- 【議会広報特別委員会】
- 委員長 亀岡 純一
 - 副委員長 伊藤 淳
 - 委員 伊藤 弘美
 - 委員 敷本 光治
 - 委員 室坂 泰征
 - 委員 服部 しのぶ
 - 委員 山形 俊文
 - 委員 湊 俊文